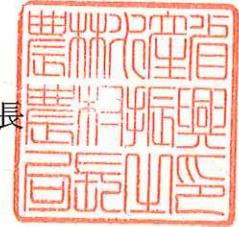


24農振第2100号
平成25年2月8日

社団法人 全国建設業協会会長 殿

農林水産省農村振興局長



平成24年度耕作放棄地対策全国説明会の開催について

耕作放棄地対策の適正かつ円滑な推進を図るため、別添開催要領により耕作放棄地対策全国説明会を開催することとしましたので、協力をお願いします。

なお、貴協会関係の会員等への周知をお願いします。

平成24年度 耕作放棄地対策全国説明会開催要領

1 目的

本説明会は、地域の担い手のみでは再生利用が困難な耕作放棄地を活用し、地域の枠を超えて農業生産を推進しようとする大規模農家や農業生産法人、新たに農業を始めようとする新規就農希望者や新規参入希望法人、NPO法人等のほか、都道府県や市町村で耕作放棄地の再生利用対策を推進している耕作放棄地対策協議会、農業委員会、農業公社等を対象に、農林水産省が推進している耕作放棄地対策について説明・意見交換を行い、もって耕作放棄地対策の適正かつ円滑な推進を図ることを目的とする。

2 開催日時：平成25年2月28日（木） 10：30～16：30

3 開催場所：三田共用会議所 講堂（tel 03-3455-7591）

4 主催等

（1）主 催：農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課耕作放棄地活用推進室

（2）協 力：（財）建設業振興基金、建設トップランナー倶楽部、（財）食品産業センター、（社）全国建設業協会、全国農業会議所、中小企業家同友会全国協議会、（財）都市農山漁村交流活性化機構、（社）土地改良建設協会、（社）土地改良測量設計技術協会、（株）日本政策金融公庫、（公財）日本生産性本部、日本チェーンストア協会、（社）日本農業法人協会、農業参入法人連絡協議会、（社）農業土木事業協会、パルシステム生活協同組合連合会、（社）全国農地保有合理化協会、全国有機農業推進協議会、有機農業参入促進協議会 等

5 内容等（予定）

① 基調講演

「市町村を超えた新たな担い手と耕作放棄地とのマッチング」

大分県 農林水産部 農山漁村・担い手支援課

企業参入支援班 参事（総括）磯田 健氏

② 事例紹介

ア 株式会社 柳家 代表取締役社長 大信田和彦氏

地域産原料にこだわった岩手県のラーメンチェーン店が、自社農場で小麦栽培を開始。岩手銀行や紫波町農業委員会の紹介により、紫波町の耕作放棄地（果樹園跡地）7.5haを賃借し、再生して小麦の生産を実施。

イ 財団法人 鳥取県農業農村担い手育成機構 理事長 上場重俊氏

鳥取県江府町農業委員会からの要請を受けて、同県境港市で青果業のかたわら農業生産に取り組んでいた有限会社岡野農場を紹介、江府町の高原地帯に分散した耕作放棄地の集積を推進。岡野農場は耕作放棄地を再生してダイコンを栽培。

ウ 株式会社 大分サンヨーフーズ 取締役副会長 倉持隆氏

東京の食品産業会社が、耕作放棄地再生利用交付金を活用し、杵築市で農業生産法人を設立し農業参入。みかんの耕作放棄地15.4haを再生し、ゆずの新植1万本。他に南高梅700本を栽培管理。

③ 関係事業説明

- ・ 農村振興局農村計画課耕作放棄地活用推進室
- ・ 経営局就農・女性課
- ・ 岩手銀行（地方銀行協会）地域サポート部
- ・ 日本政策金融公庫
- ・ J A全中
- ・ 全国農業会議所

④ 企業参入に係る課題等に関する質疑・応答

6 参加者の募集

各地方農政局及び沖縄総合事務局、関係団体等を通じて、参加申込様式付きのチラシを配付する。参加希望者は、農村振興局農村計画課耕作放棄地活用推進室宛てに FAX で参加登録を行う。

7 その他

農村振興局農村計画課耕作放棄地活用推進室に事務局を置くものとする。